2024. 12

広報 おおくわ

No.602

● 姉妹都市相互交流の再開 …… 2～3P
● 年末年始の休館と休業 …… 6P

シェルビービル市相互交流の再開

昨年度姉妹都市シェルビービル市との国際交流事業を再開し、訪問団を受け入れました。

今年は、ホームステイを行う高校生3名と、鈴木議長、藤原議員、職員1名の計6名により、5年ぶりの渡米による交流を行いました。

期間は日本時間11月1日から9日までの7泊9日で行われ、高校生はホストファミリーの下で短期留学体験を、随行者は市内各所の視察を行いました。

国際交流事業日程

日　付	随行者	高校生
11/1	シカゴに到着 シカゴからシェルビービル市へ	
11/2 ～6	市内視察 1 シェルビービル湖 2 ミドルスクール ハイスクール 3 市立図書館 4 市立公園 5 評議会 6 IHI Turbo America	ホームステイ ・地元高校へ通学など 参加した高校生の感想は広報おおくわ2月号に掲載を予定しています。
11/7	帰路のためシカゴへ	
11/8	シカゴから羽田空港へ	
11/9	日本に到着	

視察箇所の紹介

1 シェルビービル湖

市内を縦断するカスカスキア川を堰き止めて作られた人工湖です。夏場はシカゴなどから350万人ほどの観光客が訪れます。

シェルビービル市民の収入を支える産業の一つがこの湖の観光収入です。

2 ミドルスクール・ハイスクール

ミドルスクールは4年生から8年生を対象とした学校で、日本の小学校高学年から中学校の年代にあたります。ハイスクールは9年生から12年生を対象とした学校で、日本の高校にあたります。シェルビービル市のハイスクールは幼稚園と同居しており、学校敷地内を園児が歩く独特の光景が見られました。

特徴としては、地元産業（製造業や農業）に関する授業に力を入れており、ハイスクールの技術室には本格的な設備が備えられていて、専門技術を学べる環境が整えられていました。農業に関しても大型のトラクターを準備し、生徒がいつでも使用できるようになっていたり、水耕栽培に関する授業も行われていました。校長先生によると「大学に行かなくても、大学に行くよりも稼げる技術を身に付けられるように」という方針とのことでした。

またスポーツ強豪校でもあり、2校合わせて300以上のトロフィーや盾が廊下やガラスケースに飾られていました。

▲大型のトラクター
生徒は自由に使えます

▲技術室の様子

3 市立図書館

地上1階地下1階の建物で、蔵書は60000冊以上、歴史ある建物で100年前からの受付台や机、椅子などを丁寧に使いながら運営されています。蔵書の43％は子ども向けの書籍となっていて、地下1階のフロアは全て子ども向けとなっていました。

フロア内では水彩画などのカルチャースクールのほか、子ども達とセラピー犬の交流イベントも行われています。

▲図書館の子ども向けフロアの一画

4 市立公園

サンケンガーデンという名称の公園で、周辺の森林の散策路や庭園、自転車用の練習場などが整備されており、森林公園と

スポーツ公園を合わせたような施設です。
市は国の補助金などを使って、公園全域を整備しており、11月からはクリスマスのイルミネーションが飾られていました。早朝にはランニングする住民も多いようです。

5 評議会

日本の議会に相当しますが、二元代表制ではなく、市長と4人の評議員が、住民からの要望や提案について、直接審議していきます。
日本の「議員」は住民の代表者ですが、アメリカの「評議員」は市の代表者として審議を行っているとのことです。
市民が直接市に対しての要望を伝えている光景は、住民生活と行政の近さを感じさせるものでした。

▲評議会議場
市長、事務責任者、弁護士と評議員4名がここで審議を行います

6 IHI Turbo America

㈱IHIの関係会社で、この会社がきっかけとなり大桑村とシェルビービル市の国際交流は始まりました。
工場内は、数人で全ての工程を行っている区画もあるなど、オートメーションが進んでいました。
シェルビービル市は人口4700人程と人口規模は大桑村とあまり違いがありません。しかし、若年層や子どもの割合が高く、人口も増えつつあるようです。
文化や環境面の違いもあり、一概に市の取り組みや状況を村の人口減少対策に取り入れることはできませんが、参考とできる部分も多くあるのではないかと考えさせられる視察となりました。
シェルビービル市との交流は間もなく30年を迎えます。
今回の訪問では、小学生など若年層の交流方法の検討が住民間で始まるなど、新たな交流方法の模索も始まっています。長年続いているこの交流をさらにより良いものにするには、行政だけでなく住民同士の繋がりが大切となります。
国際交流に関する提案等がありましたら、総務課企画財政係までご連絡ください。

▼問い合わせ先
総務課 企画財政係
TEL ＊＊55-3080

消防団出初式のお知らせ

令和7年1月12日㈰に大桑村消防団の令和7年出初式を実施します。

開催日時・場所

令和7年の出初式は第2分団地籍（中部）で行われます。
式典は10時から大桑中学校体育館で行われ、11時過ぎからは大島地区で分列行進を予定しています。

出初式とは

出初式は、消防団の仕事始めの行事で古くは江戸時代から行われています。
消防団員の士気向上、規律維持に加え、住民に安全の重要性を体感する機会を提供し、防火思想の普及を図ることを主な目的として開催されます。
出初式は式典、分列行進ともに観覧自由です。
分列行進が行われる大島地区内では路上駐車等行わないようご協力をお願いします。
また、今回の分列行進には消防団の消防車両のほか、木曽広域消防署の消防車両及び救急車も加わり行進します。
冬場は火の扱いが増え、火災が発生しやすい季節です。火の取り扱いには十分に注意して年末年始をお過ごしください。

▲令和6年出初式 分列行進の様子

▼問い合わせ先
総務課 危機管理係
TEL ＊＊55-3080

この記事は、職場体験として役場企画財政係の業務を体験した、中学2年生の生徒3人が作成したものです。

中学生職場体験

10月30日、31日に、中学2年生が職場体験学習を行い、村内の事業所で様々な仕事を体験しました。これは、働くことの意義や喜びを知り、郷土の職場や産業への理解を深めることなどを目的に事業所の協力を得て行われたものです。

「大桑保育園」では、栃羽結衣さん、暮沼潤埜さんが体験しました。栃羽さんは、「子どもに戻ったような感じ。自分より小さいから、目線を合わせて、大きな声で話した」暮沼さんは「小さい子がたくさんいるのでぶつからないように気を付けた」と話しました。保育園児との交流を通して学校生活では学べないことを経験できた貴重な機会となりました。

▲園児を見守る暮沼 潤埜さん

▲園児と遊ぶ栃羽 結衣さん

「珈琲刀」では、田中心さんがお店の接客を体験しました。接客やコーヒーの入れ方などを体験し、田中さんは、「海外のお客さんが多いことや、お客さんによって頼み方が違い、接客が大変だった」と話しました。また、田中さんが入れたコーヒーを実際に飲んだ坂岩佑隼さんは、「程よい苦みでおいしい」と味の感想を伝えてくれました。

2日間学んだことを中学校に戻っても大切にして、これからの学校生活や、進路選択に活かしたいと思います。

▲コーヒーを入れる田中 心さん

年末は交通事故に注意

冬は降雪や凍結により道路環境が悪くなる季節です。また、年末は、飲酒や夜間に出歩く機会が増えるため、交通事故に一層の注意が必要です。

次のポイントを再確認し、日頃から交通安全を意識して行動しましょう。

❶夜間の交通事故防止

❷高齢者の事故防止

❸飲酒運転の根絶

特に、飲酒運転は重大事故の原因となり、被害者も加害者も一瞬で人生を棒に振ってしまいます。飲酒運転をしない、させない、許さない環境を作りましょう。

年末の交通安全運動

12月15日㈰から12月31日㈫まで年末の交通安全運動が実施されます。

村内では、12月20日㈮に道の駅大桑で10時から11時まで交通指導所が開設されます。

▼問い合わせ先
住民課 生活環境係
TEL ＊＊55-3080

民生委員表彰

永年勤続民生委員児童委員表彰として、在任期間が10年を超える髙田隆一さんと下野良則さんの2名が長野県民生委員児童委員協議会連合会から表彰されました。

髙田さんは大桑村民生児童委員協議会長として、下野さんは主任児童委員として、安心・安全で明るく暮らしやすい地域づくりを進めるため活動しています。

表彰を受け髙田さんは「地域の最も身近な相談相手として住民に寄り添い、行政や関係機関へのつなぎ役として地域に合わせて活動をより一層進めていきたい」と抱負を述べました。

また、民生委員活動を積極的に行い、その活動が顕著であると認められ、2人の表彰にあわせ、大桑村民生児童委員協議会も、優良単位民生児童委員協議会表彰を受けました。

▲髙田 隆一さん

▲下野 良則さん

職員募集

村では令和7年4月1日採用の職員を募集しています。

募集職種・受験資格

▼**一般行政職**

・若干名

・昭和54年4月2日以降に生まれ、学校教育法による高等学校以上を卒業した人

▼**保健師（資格免許職）**

・若干名

・昭和54年4月2日以降に生まれた人で保健師の資格を有する人

募集期間

令和7年1月6日(月)まで

申込方法

受験申込書に必要書類を添えて土日、祝日を除く午前8時30分から午後5時15分までに総務課総務係へ直接持参するか郵送してください。郵送は簡易書留など確実な方法とし令和7年1月6日(月)必着としてください。

詳細は村ホームページからも確認できます。

▼問い合わせ先
総務課 総務係
TEL＊＊55-3080

会計年度任用職員募集

教育委員会では令和7年4月採用の中学校に勤務するパートタイム会計年度任用職員を募集しています。

募集職種

▼**学習支援員**

・若干名

応募資格

次のすべてに該当する人

(1)令和7年4月1日時点で65歳以下の人

(2)養護教諭の資格を有する人

(3)地方公務員法第16条（欠格条項）に該当しない人

募集期間

令和6年12月20日(金)まで

※詳細は村ホームページ又は、教育委員会事務局まで問い合わせてください。

▲村HP「職員採用案内」

▼問い合わせ先
教育委員会 子ども教育係
TEL＊＊55-1020

水道管の凍結にご注意ください

冬は、水道管の凍結に注意が必要です。水道管内の水が凍結すると水道管が破裂し、漏水します。

水道メーターから家屋側の水道管は利用者の責任で管理することになっています。家屋側の漏水による水道管の取り換え・修理費等は利用者の負担となるため、日頃から適切な管理をしてください。

安心して水道を使えるように、次のような対策をしてください。

凍結しやすい箇所

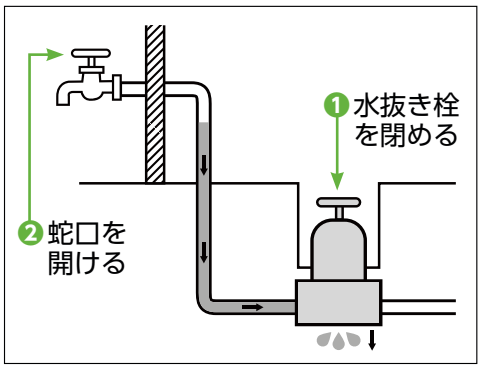
- 露出管
- 家屋の北側や日陰、風当たりの強いところにある水道管
- メーターボックス内

凍結防止策

- 屋外の露出管へ凍結防止電熱帯を設置。電熱帯の電源の確認
- 屋内の水道管へ、市販の保温材や布等を巻き付ける
- メーターボックスの中に、布や新聞紙、発泡スチロールを袋詰めにしたものを入れる

長期間家を空ける時には担当係までご相談ください。

※万が一、水道管が破裂したときは、水道工事事業者に修理を依頼してください。



▼問い合わせ先
建設水道課 上下水道係
TEL ＊＊55-3080

年末年始の休館と休業

くわちゃんバス・乗合タクシー
12月28日㈯～1月5日㈰

大桑保育園
12月28日㈯～1月5日㈰

子育て世代包括支援センター（まめっこ）
12月28日㈯～1月5日㈰

大桑村図書館
12月28日㈯～1月6日㈪

リサイクルステーション閉鎖（役場上、くわっこ工房横）
12月27日㈮16時～1月6日㈪8時30分

ごみ収集
12月28日㈯～1月5日㈰
【年末特別持ち込み】※可燃ごみ（一般）
12月28日㈯～29日㈰　9時～15時
木曽クリーンセンター　TEL 24-3131

汲み取り
12月28日㈯～1月5日㈰
※年内の汲み取り受付は20日㈮まで
㈲環境サービス　TEL 52-2587

村民体育館
12月29日㈰～1月3日㈮

野尻連絡所・須原郵便局・各種証明書発行　12月28日㈯～1月5日㈰

道路除雪作業にご協力をお願いします。

除雪作業は、通常10～15㎝程度の積雪を目安に出動し、村内163路線、約102㎞の除雪を行っています。

積雪時には村内の建設等関係業者16社の協力により、通園、通学バス路線や交通量の多い幹線道路を優先的に、早朝から一斉に作業を行います。降雪の状況によっては作業が遅くなってしまう地域があります。

除雪作業について次の点にご協力ください。作業に伴う騒音、振動など迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

除雪作業について次の点にご協力ください。

路上駐車はしない

路上に駐車車両があると周辺の除雪ができず、除雪作業に大きな支障となります。路上駐車をしないようにお願いします。

除雪車に近づかない

除雪車の近くは、運転手から死角となり大変危険です。特にお子さんやご年配の人はご注意をお願いします。

玄関先等の除雪

除雪車による作業の後は、玄関先等に雪が残ってしまいます。地域の皆様の協力で除雪をお願いします。

道路沿いの竹木

雪の重みで道路へ覆いかぶさり通行の妨げになります。

降雪前に私有地の竹木の点検をお願いします。

融雪剤の設置

身近な道路の除雪や融雪剤散布にご協力ください。

例年どおり村内各所に融雪剤を配布しますので活用してください。

融雪剤の補充や、指定場所以外の村道等で必要な場所がありましたら、役場建設係まで連絡してください。

▲融雪剤置き場の例
ほかにもドラム缶や入れ物なしの場合もあります。

▲除雪作業の様子

お問い合わせ先

- 国道に関すること：飯田国道事務所 木曽維持出張所　TEL２２-３０１１
- 県道に関すること：木曽建設事務所 維持管理課　TEL２５-２２３９（直通）
- 村道に関すること：大桑村役場 建設水道課 建設係　TEL＊＊５５-３０８０

第1回

村長コラム

column

今月の広報から「村長コラム」として私なりの思いを伝えたいと思います。私と皆様の双方向でやり取りできるといいなと思っていますのでお気付きのことは気軽に連絡してください。

10月26日にのぞきど森林公園で大桑村育樹祭を開催しました。育樹祭では、育てたい樹木の成長のために邪魔な草木を除去する作業を行い、今回は、自生するツツジを覆っている木やツルの除去などを行いました。村の公募により村民に参加いただき、森の中に子どもたちの元気な声が響き渡ってとても楽しい作業になりました。

さて、12月はクリスマスの季節です。その飾りの中でクリスマスリースについて、私は1年に1度は森を守るために木に絡みつくツルを切ってあげなさいという教えなのかなと思っていましたが、これは勝手な思い込みでしょうか。

リースの輪は永遠を意味し平和や幸福を願うものとのことです。

森を元気にすること、来年が良い年になることを願いクリスマスリースを作ってみませんか。

地域おこし協力隊です。

狄舘（えんだて） 和（ひとし）

大桑村の皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊の空き家対策担当、狄舘です。つい最近まで暖かい日が続いていたので今年の冬はそれほど厳しくならないのかな、と思っていたのですが、甘かったようです。急に冷え込んできて、いつもの木曽と変わらない寒さとなりました。皆さんもお体に気を付けてお過ごしください。

さて、私の地域おこし協力隊の任期もあとわずかとなってしまいました。来年3月で卒業となりますが、果たして村民の皆さんのお役に立てたかどうか、日々自問している次第です。

これまでの約4年半、空き家対策を担当してきましたが、空き家を売りたいという人の空き家情報バンク登録件数が100件を大きく超える116件となりました。私が着任した時には40件そこそこでしたので、4年半で過去の2倍近い物件が登録されたことになります。村民の皆さんの空き家への関心が高まっているということだと思いますが、村にはまだ多くの空き家があります。10年ほど前に調査した時には約250件あったそうですので、まだ半分しか登録されていないことになります。もちろんその間にも空き家となった物件があるはずですので、実は減るどころか増えている可能性の方が高いかもしれません。自分にできることを着実に行ってきたつもりですが、こういった現実を考えるともう少し違うやり方もあったのではないかと思っています。

例えば、定期的な移住相談の場を設けることです。都市部にあるアンテナショップ内でもいいですし、今は当たり前となったWebでの相談などもいいかもしれません。空き家を減らすということは新しい人に来ていただく必要がありますから、積極的な移住対策が欠かせません。もちろん今までも空き家の問い合わせがあれば移住相談もできるだけ丁寧にしてきましたが、これは移住を決めている方へのアプローチになりますので、受け身といってもいいでしょう。まだ移住をするかどうか悩んでいる人へ、移住相談を前面に出した方法も考えた方が良かったのでは、と今では思っています。

残念ながら、今から準備をして始めても私の任期中には間に合いそうもありませんので、来年度の村の方針に沿って検討いただければと思います。

空き家に関する状況は以前とは比べ物にならないくらい早いスピードで変わっています。以前から言及していますが、宅地の固定資産税の軽減措置（6分の1に軽減）の一定条件による廃止や家屋敷税の課税等の税金関係に加えて、空き家所有者の管理責任が厳しくなるなど国の方針や法律が変わり把握するだけでも大変です。来年3月の任期終了まではしっかり業務を行っていきますので、不安な方はぜひご連絡ください。

空き家所有者の皆様へ

空き家相談会への申込み、または仕事で平日に時間が取れないなど忙しい人は、私に直接ご連絡いただいても結構ですので、遠慮なく相談いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

狄舘 携帯番号
TEL 080-6932-3915
（月曜日を除く）
✉ okuwa.kyouryoku.e@gmail.com

保健だより

TEL ＊＊ 55-4003（直通）
mail cent@vill.okuwa.lg.jp
松尾 竜太 管理栄養士

毎月19日は食育の日

みなさんは食育という言葉を知っていますか？
食育とは様々な経験を通じて、「食」に関する知識やバランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことです。

食育に繋がること

現在「食」をとりまく環境は多岐にわたっています。食育は料理だけに限らず、農業漁業体験、食事のマナー、喫食（楽しく美味しく食べること）など全てが繋がります。毎月19日には「我が家の食育」実践として何かに取り組んでみましょう。
今回は大桑村内の学校の給食メニューを紹介します。ぜひご家庭で作って給食を体験してください。

❶大桑小学校ハロウィンのメニュー　バターチキンカレー

材料（4～6皿分）

- 鶏もも肉 …… 2枚
- にんにく …… 小さじ1
- 生姜 …… 小さじ1
- 黒コショウ …… 少々
- ヨーグルト …… 大さじ2
- カレー粉 …… 小さじ1
- 玉ねぎ …… 中1玉
- 炒め油
- カレー粉 …… 3.5ｇ
- ガラムマサラ … 1ｇ
- コンソメ …… 大さじ1
- トマト缶 …… 1缶
- 食塩 …… 小さじ1
- 水 …… 400㎖
- 牛乳 …… 200㎖
- バター …… 30ｇ
- 生クリーム …… 80ｇ
- チャツネ …… 大さじ1

作り方

①鶏肉はにんにく、生姜、黒コショウ、ヨーグルト、カレー粉で下味をつける
②玉ねぎはスライスし、炒めて①を加える
③カレー粉とガラムマサラを入れてさらに炒める
④水、トマト缶、コンソメ、塩を入れて10分煮る
⑤牛乳、バター、生クリーム、チャツネを入れて仕上げる

❷大桑中学校カムカムメニュー（歯の健康習慣）　かむかむサラダ

材料（4人分）

- さきいか …… 24ｇ
- キャベツ …… 100ｇ
- 水菜 …… 48ｇ
- 人参 …… 28ｇ
- ごぼう …… 80ｇ
- マヨネーズ …… 24ｇ
- しょうゆ …… 6ｇ
- 白ごま …… 5ｇ

作り方

①さきいかは食べやすい長さに切り、トースターで焦げないように焼き香ばしくする
②白ごまはフライパンで炒っておく
③キャベツは太め千切り、人参、ごぼうは細切り、水菜は3㎝位に切る
④③を茹でて、水で冷やし水気を切る
⑤マヨネーズとしょうゆを合わせて①と④と和える
⑥白ごまを入れて均等になるように混ぜる

今回紹介しきれないメニューも今後紹介していきたいと考えています。
材料を買いそろえる食育、実際に作ってみる食育、どんな味だったのか聞いてみる食育、懐かしい味を自分で食べてみる食育、様々な我が家の食育の形で実践してみましょう。

上伊那医師会付属准看護学院生徒募集

問申 上伊那医師会付属准看護学院 TEL 0265・72・2856

上伊那医師会付属准看護学院では、令和7年度入学の生徒を募集しています。

募集人員 40名
修学年限 2ヶ年
受付期間 令和7年1月8日(水)～1月31日(金)
受験料 10,000円
試験日 令和7年2月15日(土)
試験科目 国語、数学、選考後面接
資料請求 住所・氏名を明記し、110円切手を貼付した返信用封筒（長形3号）を同封の上、「募集要項希望」と明記して郵送するか、直接学院へ訪問してください。

学院住所 〒396・0014 伊那市狐島4176番地

相続登記の義務化

問 長野地方法務局木曽支局 TEL 22・2186

令和6年4月1日以降、不動産を相続した場合は、その取得を知った日から3年以内に相続登記の申請をすることが義務になりました。令和6年4月1日以前に不動産を相続し、その取得を知っていた場合も対象です。

相続登記に関する相談は、長野県司法書士会が運営する、常設電話相談（TEL 026・232・6110）平日12時～15時などを利用してください。

人権相談窓口のお知らせ

県では、職場や地域社会での問題、セクシュアリティに関する困りごとなど人権に関する相談を受け付けています。

本人からだけでなく、周りの人からの相談も受け付けています。秘密は固く守られます。

●相談窓口
長野県人権啓発センター（相談専用電話）
※通年受付
TEL 026・274・3232
8時30分から17時
火曜日～日曜日

教育訓練給付制度

問 ハローワーク木曽福島 TEL 22・2233

雇用保険制度では意欲のある人のスキルアップを支援するために教育訓練給付制度を設けています。

この制度は、雇用保険に加入しているなどの一定の要件を満たす人が、厚生労働大臣が指定した教育訓練講座を受講、修了し、ハローワークに申請すると、受講費用の一部が支給される制度で知識・スキルの習得や資格取得を通じたキャリアアップを支援する制度です。

対象となっている教育訓練講座は、看護師や介護福祉士を目指すため専門学校への通学を対象にした専門実践教育訓練や、大型自動車免許を取得する一般教養訓練など種類は様々で、約16,000の講座が対象です。

▲制度の詳細

司法書士による年末困りごと相談会

問 長野県司法書士会 TEL 026・217・5305

日時 令和6年12月21日(土) 10時～16時

面談相談
●長野会場
長野市生涯学習センター（TOiGO WEST）3階 第2学習室
●松本会場
松本市勤労者福祉センター3階 3・3会議室
※面談相談は事前相談優先です（予約なしでも相談できます）

▼予約電話番号 026・232・7492
▼予約対応時間 12月19日(木) 16時まで（土日・祝日は除く）

電話相談 0120・448・788
※当日のみの専用番号

相談例
・借金で苦しんでいる
・生活保護を受けたい
・相続放棄について知りたい
・労働問題で悩んでいる
など

村長と話そう！

問 総務課 総務係 TEL ＊＊55・3080

1月開催日
●第3回 1月6日(月)
●第4回 1月20日(月)

参加を希望する人は12月24日(火)までに役場へ連絡してください。話す内容は要望、雑談など自由です。気軽に申し込んでください。

1月の行事予定

1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	官公庁仕事始め 第３回 村長と話そう！（役場）
7	火	三保期始め（保育園） 三学期始業式（中学校） 健康教室（野尻地区館）
8	水	ゴールデンシューの日（長野地区） 三学期始業式（小学校）
9	木	らくらく筋トレ教室（野尻地区館）
10	金	
11	土	推しレコ！（図書館）
12	日	大桑村消防団出初式（中部）
13	月	
14	火	健康教室（野尻地区館）
15	水	スキー教室（小学校）
16	木	おはなし会（図書館） らくらく筋トレ教室（野尻地区館）
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	なんでも相談（須原地区館） 第４回 村長と話そう！（役場）
21	火	健康教室（野尻地区館）
22	水	
23	木	らくらく筋トレ教室（野尻地区館）
24	金	
25	土	図書館 de シネマ（図書館） 立志式（中学校）
26	日	
27	月	
28	火	健康教室（野尻地区館）
29	水	
30	木	らくらく筋トレ教室（野尻地区館）
31	金	

※都合により、変更・中止になる可能性があります。

1月まなびましょう

マスコット：マナビィデザイン：石ノ森章太郎

生涯学習に関する問い合わせ　大桑村公民館 TEL＊＊55-1020

教室	会場	時間	開催日
英会話	①	14：00	8、15、22、29
英会話	①	19：30	8、15、22、29
押し花教室	②	10：00	17
パッチワーク	－	－	12月で終了
レザークラフト	⑦	9：30	休み
陶芸教室	④	10：00	休み
コール・マルベリー	①	19：30	8、22
	②	19：30	15、29
詩吟岳風会大桑教室	⑥	10：00	15、22、29
大正琴糸瀬会	③	13：00	14、28
リフレッシュヨーガ	⑦	19：00	8、15、22、29
ヨガ	②	14：00	休み
あゆみ整体教室	⑦	19：00	休み
フラ教室〈昼〉	③	13：30	休み
フラ教室〈夜〉	②	19：30	休み
舞DANCE木曽＆日本舞踊はなやぎ	⑤	14：00	4、11、18、25
池坊いけばな教室	③	13：00	14、28
笑いヨガ	②	13：30	休み
ヨガストレッチ	③	20：30	8、15、22、29

会　場　①役場、②野尻地区館、③須原地区館、④殿分館、⑤村民体育館、⑥橋場分館、⑦弓矢分館

※各教室とも随時参加者を募集しています

広報おおくわ No.602
令和6年12月12日発行

10月・11月のできごと

お詫びと訂正

広報11月号で誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

・6p「保険証の新規発行終了」 令和7年7月31日までに75歳になる人
【誤】後期高齢者医療制度へ移行となるため、誕生月の前日まで
【正】**後期高齢者医療制度へ移行となるため、誕生日の前日まで**

・7p「羽根田副村長退任」3行目
【誤】羽田副村長は
【正】**羽根田副村長は**

村の人口

1,462世帯（前月比＋1世帯）	男（人）	女（人）	計（人）
出生	0	0	0
死亡	5	5	10
転入	4	2	6
転出	3	4	7
その他	1	—	1
総人口（前月比）	1,588（−3）	1,626（−7）	3,214（−10）

（12月1日現在・住民基本台帳登録人数）

1月の緊急当番医

日	緊急医名	電話番号
1日㈬	大脇医院（上松町）	52-2023
2日㈭	田沢医院（木曽町開田）	44-2008
3日㈮	古根医院（大桑村）	55-1188
5日㈰	奥原医院（木祖村）	36-2264
12日㈰	王滝村診療所（王滝村）	48-2731
13日㈪	原内科医院（木曽町福島）	22-2678
19日㈰	芦沢医院（上松町）	52-2018
26日㈰	古根医院（大桑村）	55-1188

木曽病院（木曽町福島） TEL 0264-22-2703
坂下診療所（中津川市坂下） TEL 0573-75-3118
中津川市民病院（中津川市） TEL 0573-66-1251

表紙によせて

11月8日、中学校2年生が、阿寺渓谷入口のウッドガードレールの丸太交換を行いました。

これは、中学校の総合的な学習の時間を利用した生徒たちの活動「大桑村お助け隊」として、県、村の協力の下、『ふるさとの思い出造成事業』として実施されたものです。

苦労しながらも、生徒たちは楽しそうに作業を行い、130メートル分の丸太の交換を経験しました。

生徒からは「ボルトの穴を支柱に合わせるのが難しい」とか「地元の観光地の景観維持に協力できてうれしかった」といった感想が聞かれました。

大桑村公式LINE 友だち追加はこちら

大桑村公式X（旧Twitter）

発行／大桑村　399-5503 長野県木曽郡大桑村大字長野880番地1
TEL 0264-55-3080　FAX 0264-55-4134
HP https://www.vill.okuwa.lg.jp/
mail info@vill.okuwa.lg.jp
印刷／木曽オールプリント株式会社
「広報おおくわ」は環境に優しい再生紙とベジタブルインキを使用しています。